



ジェフリー通信

すずか

2021

3.4月
合併号



ホームページでジェフリーふえすた 2020 開催中！！
<https://www.city.suzuka.lg.jp/danjo/> (12/5～)



SUZUKA 女性活躍推進連携会議を開催しました

2月4日(木)、SUZUKA 女性活躍推進連携会議を初めてオンラインで開催しました。

さらに、今回は Empowered Japan の宮崎氏をお招きして講演を行っていただきました。

意見交換の場では、市長をファシリテーターとして、各団体の現状や課題を共有し、宮崎氏

も交えた中で大変盛り上がりを見せました。そして、このような時代だからこそ、地域での連携を強め、女性活躍を推進していきたいと思いました。



4月からジェフリーすずかでWi-Fiを利用できます！

ジェフリーすずかでは、魅力ある施設を目指して4月からWi-Fiがご利用いただけるように準備を進めています。ご利用を希望される方は、窓口までお申し出ください。

また、貸出機器も増やしますので、みなさまの活動にぜひご活用ください。

貸出機器のご紹介(4月～導入)※予約できます

- ・インタラクティブホワイトボード
- ・ノートパソコン(クロームブック)
- ・スピーカーフォン
- ・Webカメラ



気になる記事をピックアップ!



「単身赴任＝男」「お茶出し＝女」無意識の偏見

朝日新聞 12月5日 (吉田 貴司)

95%の人 決めつけや思い込み

労働組合の中央組織・連合が、職場や日常生活での「アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）」について組合員など約5万人に尋ねたところ、何らかの形で「思い当たる」人が95%に上った。性別や働き方などに対する思い込みの根深さが浮き彫りになった。

6～11月にネットで調査した。「介護しながら働くのは難しいと思う」など20項目から、思い当たるものを幾つでも選んでもらった。

ジェンダー関連で最も多くの人を選んだのは、「『親が単身赴任中』という父親を想像する」で66.3%。「体力的にハードな仕事を女性に頼むのはかわいそうだと思う」は51.5%、「お茶出し、受付対応、事務職、保育士という女性を思い浮かべる」は39.2%だった。「子どもが病気になったときは母親が休んだ方が良くと思う」は21.1%を選んだ。

非正規雇用に関する項目では、「パートは『主婦が家計補助のために働いている』というイメージがある」を35.6%、「自分で望んでその働き方を選択していると思う」を13.8%を選んだ。調査した連合総合運動推進局の山根木晴久総局長は「これらの項目がアンコンシャス・バイアスだと気づくことで、決めつけや押しつけをせずに、多様性が尊重される社会や職場づくりにつなげていきたい」と話した。

2021年度 男女共同参画団体を募集します!

申請条件

- ①男女共同参画社会づくりを目的とした学習又は活動を行う団体
- ②センターの設置目的に賛同し、市が行う男女共同参画に関する事業に積極的に参加できる団体
- ③活動の本拠地が、原則として市内である団体
- ④政治、宗教又は営利活動を目的としない団体

鈴鹿市男女共同参画センターでは、男女共同参画社会づくりを目的とした活動を行ったり、当センターの設置目的に賛同し、協力する団体（主として市内で活動する団体）に対して、その団体の活動を支援するため、登録制度を設けています。（但し、宗教・政治・営利目的の団体を除きます。）

その他、登録団体間の情報交換や交流及び資質向上を図るための事業を実施し、ネットワーク化の推進を図っています。

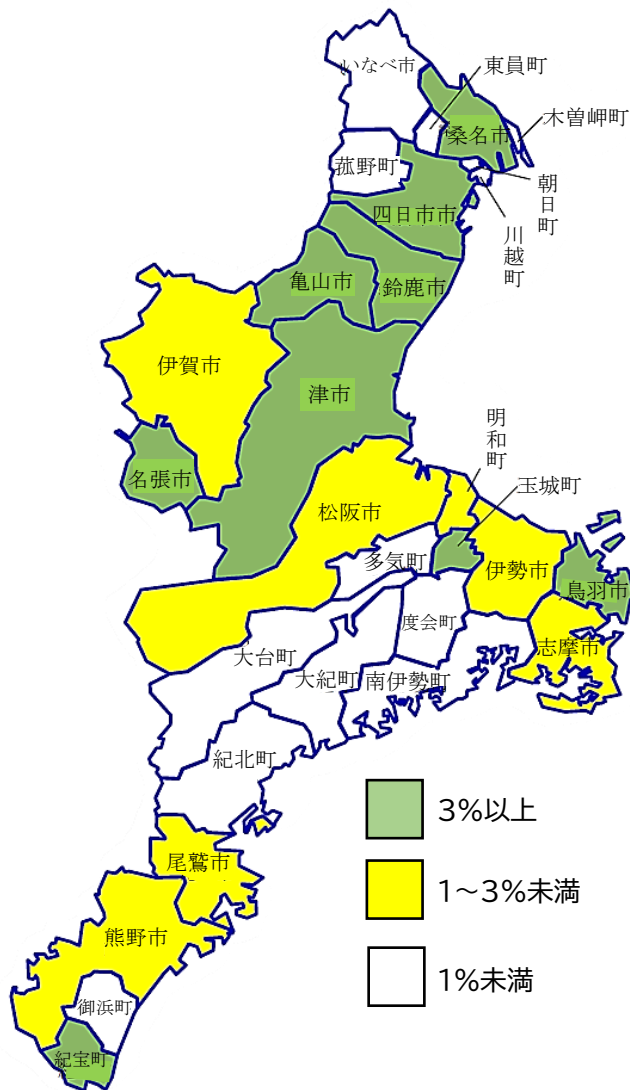
申請の詳細については、ジェフリーすずかホームページをご覧ください。

ジェフリーすずか HP <https://www.city.suzuka.lg.jp/danjo/>



意思決定の場への女性参画を推進するには

市町における自治会長の状況【令和元（2019）年度】



市町名	自治会長数	女性自治会長数	割合
桑名市	695	62	8.9%
津市	1042	63	6.0%
紀宝町	17	1	5.9%
四日市市	750	37	4.9%
亀山市	246	12	4.9%
鳥羽市	46	2	4.3%
玉城町	69	3	4.3%
鈴鹿市	400	13	3.3%
名張市	183	6	3.3%
伊勢市	175	5	2.9%
松阪市	445	13	2.9%
尾鷲市	70	2	2.9%
伊賀市	278	7	2.5%
明和町	95	2	2.1%
志摩市	49	1	2.0%

参考:三重県女性の参画マップ(三重県)

上の図表は令和元年度の三重県の市町における自治会長の状況です。鈴鹿市は自治会長数 400 名の中で 13 名が女性の自治会長でした。

国は、自治会長に占める女性の割合として、2020 年度で 6.1%、2025 年度で 10%を目標にしています。

また、令和 2 年 12 月に閣議決定した第 5 次男女共同参画基本計画の中では、「地域活動については、都市部・地方部を問わず、担い手の確保や高齢化が課題となっている。また、地域の多様化する課題・ニーズに対応していくためには、様々な視点の担い手が、性別や年齢等で多様であること、また、性別や年齢等により役割が固定化されることがないことが重要である。」とされています。

「ジェフリーふえすた実行委員」募集!

「ジェフリーふえすた」は、男女共同参画社会を身近に感じていただくためのイベントで、実行委員会形式で毎年開催しています。大人も子どもも参加できる、様々なイベントを企画していただき、ご来場者の皆様には、毎回好評をいただいています。

つきましては、今年度も企画運営に参画していただける「ジェフリーふえすた実行委員」を募集します。活動内容は、月 2~3 回程度の企画会議と、当日の運営や記録集作成などです。

応募方法は、6 月末までに、住所、氏名、年齢、連絡先、応募動機を電話・ファクスまたは電子メールで男女共同参画課宛てにお送りください。ご応募お待ちしております!

★今年度のふえすたは、12 月頃に開催予定です。

ご存じですか？

3月8日は「国際女性デー」です！

「国際女性デー」は、国連が1975年に定めた「女性への差別撤廃や女性の地位向上」を訴える日で、毎年3月8日がこの日に当たります。

この日は世界各国で「女性の生き方を考える日、女性に感謝を伝える日」とされています。

なぜ3月8日なの？

「国際女性デー」が3月8日になった理由は諸説あると言われてはいますが、一説によると1908年3月8日、アメリカ ニューヨークで女性たちが婦人参政権を求めてデモを起こしたのを受けて、ドイツの女性解放運動家クララ・ツェトキンが1910年のこの日、国際社会主義会議において「女性の政治的自由と平等のために戦う日」とするよう提唱したことから始まったとされています。

「国際女性デー」とミモザの花

「国際女性デー」のシンボルとされているのが「ミモザの花」です。「国際女性デー」はイタリアでは「FESTA DELLA DONNA (フェスタ・デラ・ドンナ=女性の日)」とされ、男性が日頃の感謝の気持ちを込めて、女性にミモザの花束を贈る習慣があります。

なぜミモザの花を贈るの？

諸説ありますが、ミモザはイタリアに自生していて、誰でも手に入りやすい花であるため貧富の差なく誰でも感謝の意を示すことができるという理由や、西欧諸国では黄色い花は「厳しい冬に終わりを告げ、暖かい春が来たことを知らせる」とされており、イタリア女性組合がそのシンボルにミモザを選んでいるから、などの説が有名です。あなたも周りの大切な女性に、ミモザの花を贈ってみませんか？



冊子「あなたは知っていますか？世界の女性のこと、日本の女性のこと」より抜粋 発行：フレンテみえ

女性のための電話相談

059-381-3118 (直通)

相談日：毎週火・木・金曜日（第4金曜日・休館日を除く）

時間 10:00~12:00（午前）13:00~16:00（午後）

3月 March 2021						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4月 April 2021						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

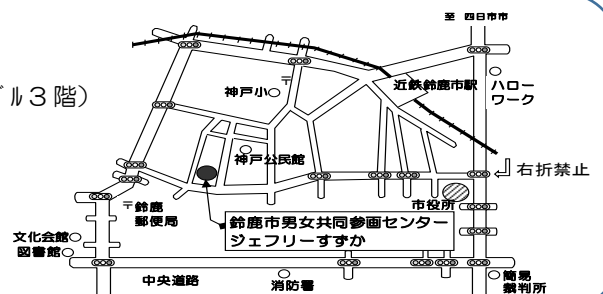
○：相談日

鈴鹿市男女共同参画センター（愛称：ジェフリーすずか）

〒513-0801 三重県鈴鹿市神戸二丁目15番18号（かんべ再開発ビル3階）

TEL059-381-3113 FAX059-381-3119

E-mail danjokyodosankaku@city.suzuka.lg.jp



ジェフリーすずか 検索

